

双葉・大熊の住民の方たちとの現状を共有するダイアログ ～国際放射線防護委員会（ICRP）の協力による対話の継続～

日時・場所：

3月11日（土） 双葉町内現地立入見学（関係者のみ）

※立入申請手続の必要上、1日目は関係者のみ見学となります。

3月12日（日） 檜葉町あおぞらこども園遊戯室（一般公開・聴講自由）

主催：双葉大熊ダイアログ実行委員会

吉田浩子（東北大学）

安東量子（NPO 福島のエートス）

宮崎真（福島県立医科大学）

黒田佑次郎（福島県立医科大学）

荻野晴之（ICRP 科学秘書官補佐）

ジャック・ロシヤール（ICRP）

クリス・クレメント（ICRP 科学秘書官）

参加団体：福島県立医科大学、福島のエートス、フランス放射線防護原子力安全研究所（IRSN）、原子力防護評価センター（CEPN）、経済協力開発機構原子力機関（OECD/NEA）

後援



同時通訳：株式会社ヒラノ

目的：2017年3月11日をもって、東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所事故から6年を迎えることとなる。その間、福島県内では、県内の大多数を占める居住地域、そして、浜通りを主とする避難指示解除を迎えた地域でインフラ面での復興は確実に進んでいる一方、帰還困難区域については、復興はおろか、将来像さえほとんど打ち出されていない状況にある。また、避難先にいる両町民の方たちがどのような問題に直面しているかということについても、一般に知られておらず、共有しづらい状況が続いている。現在、大熊・双葉町内には、中間貯蔵施設の建設計画が進められ、また5年後を目処に復興拠点が設けられることが決定されているが、それに対して両町民の方たちがどのような思いを持っているかも、共有されているとはいえない。福島県のみならず、日本は、今後も長期に渡って、帰還困難区域の将来と中間貯蔵施設に向き合っていくこととなる。どのような未来が望ましいのか、望まれるのか、それを考える礎として、本ダイアログでは、まず、困難な状況に直面

されている地元の方たちのお声を聞き、問題を共有化する機会としたい。

日程：3月11日（土） 双葉町内立入見学 （主催：マイクロバス手配）

- ・立入制限地域のため、人数制限あり。事前登録者のみ可能。
- ・立入可能時間 9:00～17:00
- ・参加者は、末尾の注意事項をよくご覧下さい。

8:00 檜葉展望の宿天神

8:23 竜田駅 ※7:53 いわき駅発

10:30 双葉町細谷地区 田中信一さんご自宅周辺ご案内

12:30 三字地区 公民館周辺ご案内 （千吉良高志さん）

14:30 帰路

16:30 檜葉展望の宿天神

18:00～ 懇親会（展望の宿天神） 無料

※参加自由。どなたでもお越し下さい。

3月12日（日）

ダイアログ 会場：檜葉町あおぞらこども園遊戯室 （一般公開）

9:30 開始 司会：ジャック・ロシヤール、安東量子

9:30～40 挨拶：ジャック・ロシヤール

9:40～10:00 前日の見学の振り返り（20分） 安東量子

10:00～10:20 双葉町の概況（20分） 双葉町復興推進課

10:20～10:40 大熊・双葉両町での線量測定について（20分） 吉田浩子

10:40～11:00 休憩（コーヒーブレイク）

11:00～11:20 中間貯蔵施設地権者会の話（20分） 門馬幸治さん

11:20～11:50 双葉町女宝財踊りについて 半谷八重子さん

11:50～12:10 三字地区の暮らしについて ビデオ紹介 千吉良高志さん

12:10～13:10 昼食 （主催：弁当100個手配）

13:10～14:40 ダイアログ 司会：ジャック・ロシヤール

双葉町、大熊町の方にとっての現在の状況、課題、そして将来について会場で共有するためのダイアログ。司会の用意する簡単な質問に各自3～5分程度順に話す。

ダイアログ参加者：千吉良高志さん（双葉町）
半谷八重子さん（双葉町）
門馬幸治さん（大熊町）
門馬好春さん（大熊町）
志賀長久さん（大熊町）
大橋庸一さん（双葉町）
田中信一さん（双葉町）
吉田浩子さん（東北大学）
佐藤紀子さん（南相馬市）

14:40～15:20 コーヒーブレイク
15:20～15:40 本日の議論のまとめ（ティエリー・シュナイダー）
15:40～16:10 まとめの討議
16:10～16:20 終わりの挨拶（クレア・カズンズ）
16:20～16:25 最後に一言（安東量子）
終了

宿泊：3月10日11日両日/展望の宿天神（最大57名）

<http://naraha-tenjin.net/cycling-terminal/tenbounoyado-tenjin>

食事：1日目昼食はなし

1日目夜レセプション（展望の宿天神）

2日目昼食会場で配布

報道関係者の皆さまへ

3月11日(土)の立入はマスコミ同行不可となっております。

3月12日(日)のダイアログは取材自由です。ご自由にお越し下さい。

■ICRP ダイアログセミナー（2011年～2015年）

<http://www.fukushima-dialogues.com>

（日本語・フランス語・英語）

